



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和7年4月25日

企業・団体名 富山県消費者協会

代表者名 会長 尾畑 納子

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 公正かつ持続可能な社会の実現のため、消費行動が環境に及ぼす影響を考慮する消費者の割合の増加を目指します。</p> <p>【実施状況】 ・くらしのアドバイザーによる啓発講座「くらしの相談会」を、県内7市町において59回開催しました。(受講者1,141名) ・消費生活研究グループとの連携による活動発表や、とやま環境フェア2024への出展を通じた啓発等により、消費者知識の普及を図りました。</p>
2	<p>【目標】 エシカル消費を推進し、マイバッグ持参の徹底や、県民一人1日当たりの食品ロス発生量の半減を目指します。</p> <p>【実施状況】 ・家庭で余っている食品を集め、食品を必要とする方に提供する「フードドライブ」(令和6年11月5日～29日)を実施し、食品ロス削減を図りました。(集まった食品:362品目 93.2kg) ・エシカル消費を県民に普及するため、①公共交通機関等でのポスター広告によるPR、②富山大学の学生による高校生を対象とした出前講座、③消費生活研究グループによる研究・啓発等を実施し、エシカル消費に関する認知度の向上を図りました。 ・また、令和6年度富山県消費者大会のエシカル消費に関する講演を通して、暮らしの中でSDGsに貢献するエシカル消費について、理解を深めました。</p>
3	<p>【目標】 毎年、消費者問題に関するアンケート調査を実施し、調査結果を公表することにより、消費者意識の向上と、生産者、販売者、行政との公正な意思疎通を図ります。</p> <p>【実施状況】 ・「大災害への備えについて～地域や家庭の防災力を高めよう!～」をテーマにアンケート調査を実施し、防災に対する消費者意識や行動、「自助」や「共助」に対する考え、さらにはエシカル消費の認知度についても調査し、その結果を公表(令和6年12月18日)するとともに、ホームページに掲載しました。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。